

再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応 (No. 3 - 24)

件名	せん断機における燃料送り出し装置のテレスコピクトランスミッション(ネジ)の外れ											
事象の概要	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: 燃料送り出し装置(せん断機)</p> <p>(2) 発生の状況 せん断機の運転中</p> <p>(3) 概要 せん断機へ燃料集合体を挿入する燃料送り出し装置のチェーンにモータの駆動力を伝える役目のテレスコピクトランスミッション(ネジ)の外れに伴う燃料集合体のせん断機への挿入不良</p>											
事象による影響	<p>(1) 工場外への影響 工場外への影響は生じない。 前処理建屋換気設備が稼働しているセル内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 安全上の問題は生じない。 せん断機の燃料送り出し装置のテレスコピクトランスミッションの故障により燃料供給が停止するため、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 作業員への影響は生じない。 外れたネジの取り付け等の作業は、セル外からの遠隔作業なので、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 下流の工程の運転に影響が生じる。 せん断機の運転を一時的に停止する必要があるため、前処理建屋内の溶解槽以降の工程の運転に影響が生じる。さらに下流の分離建屋以降の工程は、前処理建屋と分離建屋の間に設置されている一時的な貯留槽(計量後中間貯槽)の残液量で運転継続の可否を判断する。</p>											
対応の概要	<p>(1) せん断機の燃料送り出し装置のテレスコピクトランスミッションネジの外れを確認する。</p> <p>(2) 定められた保守作業手順に従って、外れたネジを取り付ける。</p> <p>(3) テレスコピクトランスミッションの保守、復旧を確認した後、駆動システムの作動試験を行い正常に動作することを確認し、定められた操作手順に従い、運転を再開する。</p>											
公表区分	毎月集約して月1回公表(ホームページへ掲載)											
対応区分	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td style="width: 50%;">国際評価尺度 (INES) のレベル</td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td style="text-align: center;">0以下 1 2 3 4 5 6 7</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td style="text-align: center;">(レベル2以下は工場外への影響はない)</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td style="text-align: center;">放射生物質の外部防出</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td style="text-align: center;">工場外への影響</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル	(b) 運転システムを切り替えて復旧	0以下 1 2 3 4 5 6 7	(c) 当該機器を停止して復旧	(レベル2以下は工場外への影響はない)	(d) 当該設備を停止して復旧	放射生物質の外部防出	(e) 影響範囲の設備を停止	工場外への影響	<p>日本原燃による評価: レベル0以下</p> <p>放射生物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</p> <p>多重防護の劣化 運転制限範囲からの逸脱等</p>
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル											
(b) 運転システムを切り替えて復旧	0以下 1 2 3 4 5 6 7											
(c) 当該機器を停止して復旧	(レベル2以下は工場外への影響はない)											
(d) 当該設備を停止して復旧	放射生物質の外部防出											
(e) 影響範囲の設備を停止	工場外への影響											

